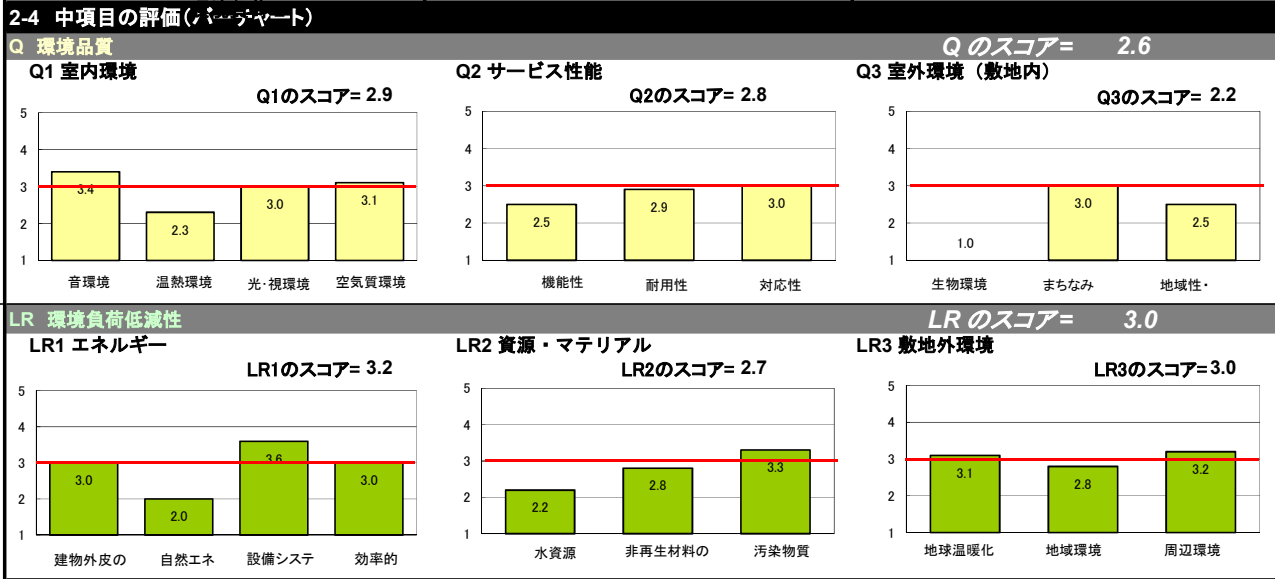
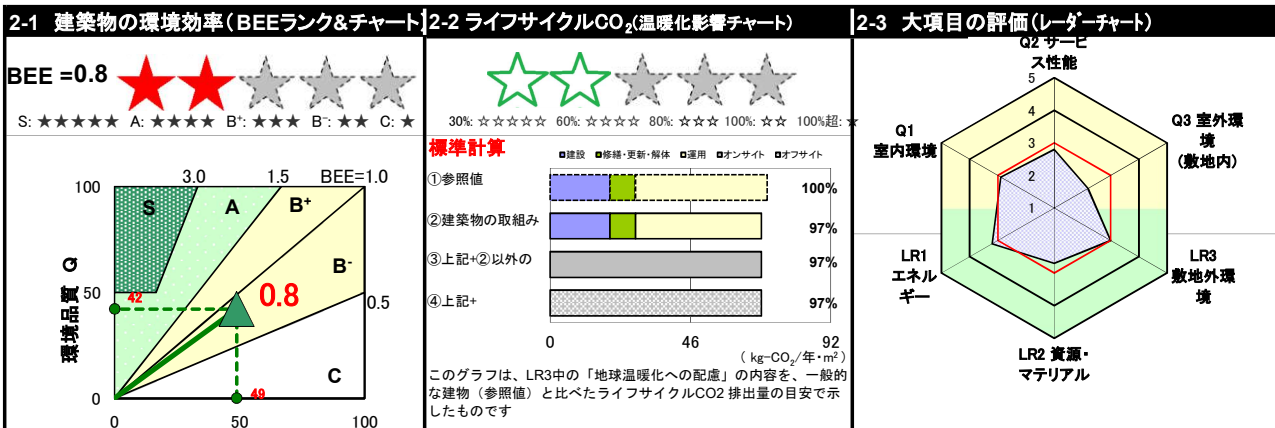


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小田原市栄町3丁目計画	階数	地上10階地下0階
建設地	神奈川県小田原市栄町3丁目220-3	構造	RC造
用途地域	地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年4月1日
敷地面積	593 m ²	作成者	株式会社ランドテック一級建築士事務所
建築面積	353 m ²	確認日	2022年4月8日
延床面積	2,964 m ²	確認者	株式会社ランドテック一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合	ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	開口部遮音性能: T-2以上。 住居部分: 2.0% ≤ [昼光率]。	Q2 サービス性能 階高2.9m以上、3.0m未満。
Q3 室外環境(敷地内)		特になし。
LR1 エネルギー	BEI = 0.94。 LED照明設備を導入。	LR2 資源・マテリアル 「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 「乾式置床」により、再利用できるユニット部材。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。
LR3 敷地外環境		ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物に対して97%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される